

自然派宣言

CHALLENGE

庄野まさひこ 県政レポート No.30

2015年9月1日、県議会環境対策特別委員会の行政視察として、兵庫県豊岡市の県立コウノトリの郷公園を訪問しました。

国の特別天然記念物であるコウノトリは、かつては日本中に広く生息・繁殖していましたが、昭和46年に野生下では姿を消してしまいました。コウノトリの日本最後の生息地となった但馬地域・豊岡市において、地域住民の皆様のご協力を得ながら、長年にわたりコウノトリの保護・増殖に努めてきました。苦難の時代がありましたが、それを乗り越え、ロシアから寄贈されたコウノトリのつがい平成元年に飼育下繁殖に成功して以来、毎年、増殖に成功し、現在は約90羽のコウノトリを飼育しています。平成17年からは放鳥が開始され、平成19年には43年ぶりに野生下でヒナが誕生しました。そして、平成24年には野生生まれの両親から雛が誕生し、野生復帰の新しい局面を迎えています。(コウノトリの郷公園挨拶文より引用)



兵庫県豊岡市 コウノトリの郷公園で飼育されているコウノトリ (撮影者 M.S)

共生・共助の社会をめざして

徳島県議会議員

庄野

昌彦

皆様方におかれましては、お変わりございませんでしょうか。また、議会活動に対しまして、ご指導をいただいておりますことに心から深く感謝申し上げます。

この1年を振り返ってみて、特筆すべきは、鳴門市にコウノトリがペアで飛来し、営巣行動、ザリガニやカエルを食する給餌活動を継続し、今なお鳴門市周辺で生活をしているということです。地元をはじめ、多くの方々のご支援があつてのことです。心から敬意を表します。仮に、本年、抱卵、雛の誕生ということになると、兵庫県豊岡市以外では、日本初の出来事となります。今、全国から大変注目を集めています。コウノトリが生きていくためには、動物性のエサが豊富にあることが重要ですが、無農薬、省農薬農業が進んでいることも背景にあると思います。徳島の農産品アピールにも大きく寄与するものであり、うれしく思います。環境対策特別委員会でも、兵庫県豊岡市にある、県立コウノトリの郷公園を訪問し、過去の歴史(絶滅からの復活)、地元との連携、協力などについて学びました。うれしいニュースを心待ちにしています。さて、今、地方創生の議論がされていますが、●人口減少をどう食い止めていくのか ●仕事をどのように確保していくのか ●持続可能な社会保障制度をどのように構築していくのか ●南海トラフの巨大地震、津波に対し、どのように立ち向かっていくのか、等々、課題は山積しています。これらの課題にしっかりと取り組んでいきたいと思えます。

政治的には、憲法九条に違反しているとして、憲法学者、多くの国民の反対や不安の声が渦巻いていたにもかかわらず、安倍政権は「集団的自衛権行使」を可能にする「安全保障関連法」を強行的に成立させました。許されない暴挙だと考えます。また、労働者保護ルールの改悪(労働者派遣法改悪)などは、労働者の権利を侵害するものであり、時代に逆行しています。

私は、今後とも粘り強く、平和と民主主義、国民生活の安定と笑顔のために、多くの方々と共に活動していきたいと思えます。

これからも、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

(自宅)〒770-8024 徳島市西須賀町東開60-19
TEL0888-669-5403 FAX0888-669-5408
ホームページ <http://www.shonomi.eck.jp>
メールアドレス info@shonomi.eck.jp

真の「地方分権・地方自治」を確立しよう。

県議会の状況

会派「新風・民主クラブ(4人)」

現在、副会長です。

「所属委員会」

文教厚生委員会委員

環境対策特別委員会委員長

議会改革検討会議委員

以下、2015年、各委員会で質問した項目を記載させていただきます。



これからも、頑張ります。皆さまのご意見お聞かせください。

文教厚生委員会

(教育委員会関係)

- ・インクルーシブ教育について
- ・特別な支援を必要とする児童生徒数の推移について
- ・特別支援学校の卒業生における就職状況について
- ・企業と連携した就労支援の取り組みについて

(保健福祉部・病院局関係)

- ・環境整備及び助成制度の検討について
- ・24時間体制の介護サービスにおける今後の方向性について
- ・マムシ咬傷の現状及び予防対策について
- ・避難訓練時の害虫等による事故防止について
- ・コウノトリを教材とした環境教育について
- ・視覚障がい男性と盲導犬の交通死亡事故について
- ・県立中央病院改築工事における杭工事データの流用について
- ・重症熱性血小板減少症候群(SFTS)の現状と対策について
- ・地域医療の充実に向けた取り組みについて
- ・回復期リハビリテーション病床の整備について

環境対策特別委員会

- ・大気中の有害物質の現状について
- ・特に、微小粒子状物質(PM2.5)の県内の状況について
- ・自然生態系に悪影響を及ぼす、外来生物の現状について
- ・特にレンコンなどの被害がある、ミシシッピアカミミガメの捕獲状況、対策について

2015年11月6日 研修(東京都文京区、日本医師会館にて) 日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム「越境性感染症の現状と課題」に出席し、人と動物の共通感染症の現状を学びました。エボラ出血熱、SARS、MERS、SFTS(重症熱性血小板減少症候群)、新型インフルエンザ対策などについて、医師会と獣医師会が連携して対処していることとすることは、とても大切なことです。

2015年11月19日 会派研修 東京都大田区大森東にある、東京消防庁第二消防方面本部を訪問し、大規模災害に備えた、訓練、救命救急の大型機械等について学びました。南海トラフ巨大地震・津波に備えなければなりません。



2015/11/19

代表質問

2015年9月25日、新風民主クラブを代表して

以下、要旨を述べさせていただきます。なお、全文は私のホームページ(<http://www.shonom.eek.jp>)に掲載しています。

①コウノトリの定着に向けた取り組みについて

質問「庄野」 コウノトリ、ツルといった大型の希少鳥類の生息は、単に良好な水辺環境が存在することを示すだけでなく、ブランド農作物の生産・販売や観光振興など、社会経済上の観点からも非常に大きな価値を有する存在であることは、兵庫県のコウノトリ、鹿児島県のツル、新潟県のトキといった、各自治体における地域振興効果の実績からも明らかであり、本県の「コウノトリ定着推進連絡協議会」においても先進地の知見は大いに参考になります。コウノトリの定着に向けた取り組みのレベルアップを図るため、全国の先進地との交流を積極的に進めるべきと考えますが、ご所見をお伺いします。

コウノトリ定着を推進

県議会代表質問の論戦 要旨

2015年(平成27年)9月26日付 徳島新聞

コウノトリ定着を推進

の確保に向け、口滑な採用にどう取り組むか。

原一郎経営戦略部長 四

園園域での大学獣医学部のあり方を考える際、シンポジウムに飯塚知事が出席し、コウノトリ定着に向けた徳島ならではの取り組みについて、国レベルの取り組みを促すために徳島府の政務を全国に発信する。そこで、兵庫県農商市など先進地と連携を強め、先駆的な知見を取り入れる。コウノトリの種の保全、野生復帰に取組む自治体や動物園など、連携する組織にも積極的に参加していきたい。庄野氏、県の獣医師職員、努力していきたい。

庄野 県議員

徳島新聞

②観光振興(ユニバーサルツーリズム)について

質問「庄野」 2016年4月から障がい者差別解消法が施行されます。この法の精神を観光振興につなげていく事は重要な視点で



越境性感染症の現状と課題

質問「副知事」 県内の観光施設における、わかりやすくきめ細かなバリアフリー情報の充実と発信に努めると共に、市町村はじめ地域のNPO法人、観光、福祉等の関係団体の皆様と連携協力しながら、外国人をはじめ高齢者、障がい者など、全ての人が安心して観光することができるよう、ユニバーサルツーリズムをしっかりと推進してまいります。

③水産業の振興について

質問「庄野」 藻場の衰退やワカメやノリの色落ちなど、海洋環境の変化に起因する水産業の課題に今後どのように取り組んでいくのかお伺いします。

答弁「農林水産部長」 藻場の造成、色落ち対策など、新たな取り組みを進めているところですが、今後とも、本県が培ってきた技術や経験を最大限に活用し、来年度新たに設置される徳島大学生物資源産学学部や民間企業とも積極的に連携を図りながら、海洋調査や研究開発を進めることにより、変化していく海洋環境に速やかに対応できますよう、しっかりと取り組んでいきます。

④動物愛護について

質問「庄野」 神山町の動物愛護管理センターを中心として、動物愛護推進協議会の関係各位のご尽力もあり、犬猫殺処分頭数は随分減少してきました。敬意を表します。さらに処分頭数ゼロとするために、徳島県動物愛護推進協議会の機能強化をはじめとした官民一体となった施策展開をどのように講じていくのかお伺いします。

答弁「危機管理部長」 平成26年度からは、殺処分ゼロを目指し、犬猫の返還率や譲渡頭数の目標設定、生涯飼育をはじめとする飼い主責任の徹底等に取り組みとともに、今年度は県下全ての市町村において避妊去勢に係る助成制度が導入され、また動物愛護管理センターでは、収容された犬の中から災害救助犬やセラピードッグを育成するなど、新たな取り組みを開始した所です。今後とも、官民一体となった取り組みを進め、犬猫の殺処分ゼロの実現による人と動物が共に暮らせる地域づくりに向け取り組みます。

⑤その他にも...

- ① 那賀川流域の治水対策について
- ② 同和行政・人権行政の推進について
- ③ 在宅医療の推進について
- ④ 移住交流の促進について
- ⑤ 水素エネルギーの活用について
- ⑥ 本県獣医師職員の採用について等質問しました。

庄野まさひの行動・日誌

2015年

- 3月9日 2月定例県議会閉会
- 17日 大松小卒業式
- 18日 大松幼稚園修了式
- 22日 とくしまマラソン
- 4月3日 県議会議員選挙告示
- 9日 大松小入学式
- 10日 大松幼稚園入園式
- 12日 県議会議員選挙投票日
- 5月1日 メーデー
- 7日 移動店舗事業協同組合64回総会
- 17日 徳島文理大学120周年式典
- 18日 臨時県議会
- 21日 文教厚生委員会
- 28日 徳島県獣医師会通常総会
- 30日 県政連合まつり
- 6月2日・4日 会派研修 山口県萩市、岡山県真庭市
- 6日 アジア・アフリカ支援米田植え(主催・食とみどり、水を守る徳島県民会議)
- 8日 文教厚生委員会(事前)
- 10日 環境対策特別委員会(事前)
- 11日 6月定例県議会閉会
- 16日 県議会代表質問
- 17日、18日 一般質問
- 24日、25日 文教厚生委員会
- 26日 連合徳島地方委員会
- 28日 日本オーストミイ協会徳島県支部総会
- 29日 環境対策特別委員会
- 7月3日 6月定例県議会閉会
- 8日 県政連合中央委員会
- 14日、15日 会派研修 東京都、日本生態系協会他
- 25日、26日 連合徳島親子サマーキャンプ(中尾山)
- 29日、30日 阿南市伊島漁業調査
- 8月4日 文教厚生委員会(県西部視察)
- 5日、6日 広島平和行動(連合徳島)
- 14日 阿波踊り(麻布大学同窓会連)
- 22日、23日 江南ライオンズクラブ親善行事(江南市)
- 26日、28日 文教厚生委員会視察(岩手、東京都)
- 31日、1日 環境対策特別委員会視察(兵庫県豊岡市他)
- 9月11日 議会運営委員会
- 12日 9・12県民大集会(藍場浜公園)
- 14日 文教厚生委員会(事前)
- 16日 環境対策特別委員会(事前)
- 17日 9月定例県議会閉会
- 22日 少年少女剣道大会(徳島眉山ライオンズクラブ主催)
- 23日 動物愛護のついで(徳島県動物愛護管理センター)
- 25日 代表質問(会派を代表して)登壇
- 28日 一般質問
- 10月2日、5日 文教厚生委員会
- 4日 庄野まさひご後援会総会
- 7日 環境対策特別委員会
- 11日 勝占神社お祭り
- 13日 9月定例県議会閉会
- 14日、16日 企業会計決算認定委員会
- 18日 大松小運動会
- 21日 反戦集会(藍場浜公園)
- 25日 徳島市コミュニティまつり(勝占中部コミュニティ)
- 28日 勝占地区戦没者慰霊祭
- 11月6日 感染症対策研修(東京都)
- 8日 藤棚剪定(徳島公園)
- 11日 徳島七権平和運動センター定期総会
- 16日、17日 民主党議員フォーラム(東京都)
- 19日、20日 会派研修 東京消防庁他)
- 26日 文教厚生委員会(事前)
- 28日 阿波踊り大総会(アステール徳島)
- 30日 環境対策特別委員会(事前)
- 12月1日 12月定例県議会閉会
- 4日 代表質問
- 7日 一般質問
- 11日、14日 文教厚生委員会
- 16日 環境対策特別委員会
- 21日 12月定例県議会閉会

2016年

- 1月6日 連合徳島旗開き
- 8日 自治労徳島県本部旗開き
- 10日 桑ちゃんカップバレー大会(大松小)
- 10日 成人式(多喜良コミュニティ)
- 13日 全農林徳島分会旗開き
- 15日 県政連合旗開き
- 15日 徳島市職労連旗開き
- 22日 徳水労旗開き
- 23日 J P 労組旗開き
- 26日、27日 会派研修 東京都、兵庫県
- 29日 解放同盟県連旗開き
- 2月4日 第36回部会解散・人権徳島地方研究会
- 6日 共生社会創造シンポジウムIN徳島
- 11日、12日、君が代、天皇制を考えるシンポジウム
- 15日 議会改革検討会議
- 17日 文教厚生委員会(事前)
- 18日 2月定例県議会閉会
- 24日 代表質問
- 25日、26日 一般質問
- 3月3日、4日 文教厚生委員会
- 8日 環境対策特別委員会
- 15日 2月定例県議会閉会

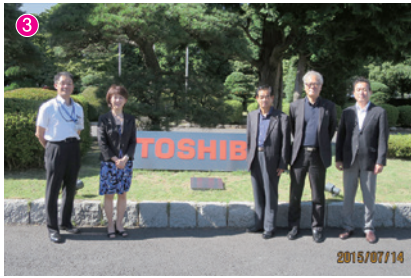
「共に生きる・ノーマライゼーション」を推進しよう。

食は命の源「地産地消」の拡大を!

2015年度活動トピックス



2015年 5月1日
労働者の祭典、メーデーに参加し、連帯の挨拶をさせていただく。**①**

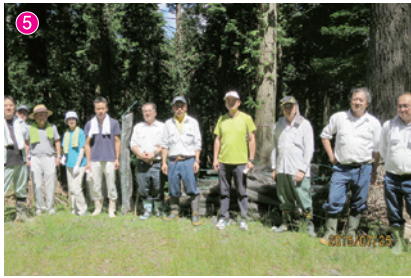


2015年 6月4日
会派研修で岡山県真庭市にある、集成材と木質バイオマスのパイオニア、銘建工業株式会社を訪問。**②**



2015年 7月14日
会派研修で、水素プロジェクトを先駆的に進めている、東芝府中工場を訪問。**③**

2015年 7月15日
会派研修で、日本生態系協会を訪問し、コウノトリの定着に向けた、助言を受ける。**④**



2015年 7月25日
連合の森(コナラの植樹)に向けて、仲間と共に、下草刈りなどの作業を行う。**⑤**



2015年 7月30日
会派の議員と共に、阿南市の離島・伊島を訪問し、漁業の調査を行う。**⑥**



2015年 8月6日
連合徳島主催の広島平和行動に参加。ノーモア広島・長崎**⑦**



2015年 8月20日
阿南市福井町にて、稲刈り。農業振興、担い手の育成は大変重要。**⑧**



2015年 8月24日
ラフティング世界大会2017が開催される、三好市大歩危、小歩危を会派で訪問。**⑨**



2015年 8月31日
環境対策特別委員会の視察で、尼崎市にある岩谷産業株式会社の水素ステーションを訪問。**⑩**



2015年 9月1日
環境対策特別委員会の視察で、兵庫県豊岡市のコウノトリの郷公園を訪問し、地域との共生について調査。**⑪**



2015年 9月17日
全建総連フレッセの皆様と、会派の議員と共に、木造住宅耐震化等について飯泉知事と協議。**⑫**

テロも戦争も貧困もない平和な地球の創造を!